

新潟選挙区 宗議会議員選挙公報			新潟選挙区選挙管理会
1	候補者	廣川 和宏（ひろかわ かずひろ）	また、新潟教区内の多くの方々からも、「これまでの経験を宗政に活かし、教区の声を丁寧に届けてほしい」という力強い支援者の声が寄せられました。 私は、教区改編をめぐる様々な経験を通じて、立場の違いを超えて歩み寄ることの大切さを深く学びました。今後は、新潟教区が経験した教区改編の実状から見えてくる課題とこれまで旧教区で培われてきた教化活動の実状に則した展望をしっかりと宗派の教化施策に反映させていきたいと願っております。 この度の立候補に際し、私は以下の三つを公約の柱として宗議会に臨みます。 - 公議公論に基づいた宗派運営の徹底 多様な意見を尊重し、丁寧な議論と情報公開を通じて、信頼ある宗派運営に寄与することを目指します。 - 大谷専修学院の早期正常化と信頼回復 宗門の未来を担う人材育成の場として、透明で健全な運営体制の構築に努めます。 - 地域に根ざした教化と支援の推進 都市教化の推進と過疎地支援の両立を図り、深刻な問題である不活動寺院の「解散に向けた支援」も含め、実情に即した宗派の施策を提案してまいります。 現場に立つ寺院と門信徒の声を宗派に届けるという責務を果たすべく、誠実に努めてまいります。 皆さまからのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。
2	所 属	第 1 8 組 高念寺	
3	所在地	新潟県新潟市南区吉江 6 1 7 番地	
4	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第 2 条第 1 項第 1 号	
5	立候補の趣意（経歴を含む）	経歴 ・1955 年生まれ、大谷大学卒業、三条教区会議長、新潟市仏教会会長 新潟県仏教会副会長	
この度、宗議会議員選挙に立候補する決意をいたしました。 私はこれまで、教区改編に際しては、地域の実情を踏まえた上で、丁寧で慎重な議論を重ねるべきだとの立場をとってまいりました。しかし、両教区での熟議と宗派の決定を受け、最後の三条教区会議長として、新潟教区の誕生に向けて責任をもって尽力し、土台づくりに取り組んでまいりました。 教区再編後は一教区会議員として、現場の声を反映した教区運営を進めるべく協力してまいりました。宗議会議員への立候補は念頭になく、この度の真宗興法議員団からの立候補要請は、まさに寝耳に水でありました。 これまで宗派の施策に対して慎重な姿勢をとってきた私に対して、なぜ与党会派から立候補の打診があったのか、私自身疑問を抱きましたが、議員団からは「宗憲の精神に基づく同朋の公議公論をもって、多様な意見を尊重し、宗門のあるべき姿をともに考えていきたい」との要請がありました。			
1	候補者	井上 博（いのうえ ひろし）	
2	所 属	高田 1 1 組 福楽寺	
3	所在地	新潟県上越市牧区岩神 5 4 7 番地	
4	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第 2 条第 1 項第 1 号	
5	立候補の趣意	経歴 ・1950 年生まれ 75 歳、大谷大学卒、高田 11 組組長(2 期 9 か月) 推進員養成講座（現 同朋の会推進講座）・真宗学院(差別問題)講師、同朋会館教導、宗議会議員(現職)	
4 年間の任期が終わろうとしています。皆様のご支援、ご協力大変ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。 この間、2023 年 7 月には、第 2 期改編教区として、新潟教区が誕生いたしました。寺院数は、改編教区の中で、京都教区、九州教区について 3 番目に位置する大教区となりました。改編に至るまでの関係者のご労苦は如何ばかりのものであったかと存じます。今回の改選にあたり、現議員として、中央改編委員として、中央と教区のパイプ役になればと思い再度立候補した次第であります。宜しくお願い致します。			
1	候補者	渡邊 学（わたなべ まなぶ）	そして、早急に取り組まねばならないことは、少子高齢化、過疎化の問題です。寺院活性化支援室で取り組まれている一面もありますが、対応しきれいていません。解散寺院は今後ますます増加が予想される中、新しい教団のすがたを真剣に聞き合わねばなりません。 男女平等参画による宗門運営。時期相応の教学・教化の確かめ。是梅陀羅の課題。財政の問題等々、課題は沢山ですが、これらの課題をもって親鸞聖人の言葉が全世界の人々に届き、魂にふれる教団をこの現代社会に表現していく歩みを進めたいと思います。 美辞麗句を並べ、施策の正当性を押し通すのではなく、現場の声を聞き取り、対話することが最も大切なことではないでしょうか。あらゆる宗門人の声は、どこに届け、だれが聞いてくれるのでしょうか。届けるところも聞いてくれる人もいないのが実情ではないでしょうか。それが議員の責務だろうと言われると、慙愧に堪えませんが……。真宗の教団、御同朋の教団、対話の教団に向かうよう、微力ながら一石を投じる歩みを進めたいと思います。ご支援賜りますようお願いいたします。
2	所 属	第 2 3 組 明正寺	
3	所在地	新潟県新潟市北区葛塚 3 2 1 1 番地	
4	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第 2 条第 1 項第 1 号	
5	立候補の趣意		
このたびの選挙にあたり、四度の立候補をさせていただきました。 思い返せば 12 年前の初立候補（旧三条教区）のときは、無投票が長らく続く無風選挙に風を吹かせたい、そして圧倒的多数の与党体制による宗政に一石を投じたい、と宗政を課題とする皆さまに促され、野党として立候補したことが思い返されます。それは今回の立候補でも変わることはありません。3 期 12 年の議席をいただいてまいりましたが、投票が行われた選挙は一度も経験しておりません。穏やかな反面、寺院活動に直結である宗政に、呼応、響き合いがないことの表れかもしれません。宗門の運営を「同朋の公議公論に基づいて」を標榜する同朋教団の危機的状況といえましよう。 教団は今、宗務改革を進めています。「教区改編」がその柱の一つです。旧三条教区においても改編にあたり、教区会で壮絶な採決になったことは忘れられないことです。全国の改編された新教区から様々な声が聞こえてきます。改編して新教区となり教化の充実、財務の改善を聞くことはほとんどありません。新教区の発足には多くの問題を抱えているのが実情です。			

1	候補者	田澤 一明（たざわ かずあき）	しかしながら、教団・寺を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症やたび重なる災害被害もあつてさらにさらに悪化しています。そして教団も、この困難な状況の中で今のままでは教団の維持存続は困難であるという認識を持ちながら、未だ新しい教団像は見いだせていないという現状です。
2	所 属	第 1 9 組 明誓寺	教団はこの間、2011 年の「親鸞聖人七百五十回御遠忌」と、2023 年の「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」という二度の大きな法要を行いました。しかしその大きな機縁も、現在の教団のありようと同朋会運動の総括の契機とはならず、その当然の結果として新しい教団像・新しい運動論を提起することにはなりませんでした。
3	所在地	新潟県新潟市南区庄瀬 6 6 0 5 番地	この重大な危機的過渡期にあつて、教団の立脚地と方向が厳しく問われています。そしてそれは一カ寺一カ寺の寺においても、我われ一人ひとりにおいても同様です。今こそ広範な議論が必要です。
4	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第 2 条第 1 項第 1 号	見失われそうになっている『宗憲』の掲げる＜同朋社会の顕現＞と＜同朋の公議公論＞という原点に帰って、未来を開く歩みを、多くの人たちと共にしていきたいと願っております。なにとぞ皆様のご理解とご支援をたまわりますようお願いいたします。 合掌
5	立候補の趣意		
原点に帰り、未来を開く ー今こそ広範の議論をー			
このたびの宗議会議員選挙に当り、再度立候補させていただくこととなりました。			
教団や寺院の現状に対して強い不安や危機感を懷き、長年にわたる圧倒的多数の与党体制による宗政のあり方に疑問をもち課題としてきた先輩諸氏が、宗議会議員選挙をその場として意志表明を行って、はや 36 年が経過しようとしています。			
私もまた、そうした志を持つ皆様に促され励まされ支えられて、宗議会に議席をいただいて 4 期 16 年が経過しました。その間一貫して野党の立場で活動し発言をし、2012 年には『同朋社会をめざす会』を立ち上げ、願いを同じくする皆様と共に議員活動を行い、現在に至っています。			
その活動は、その会の名のりが示すように、「同朋社会の顕現」こそが教団の社会における存在意義であり使命であるという原点に立ち帰り、親鸞聖人の教えを広く届けることによって、存在の尊厳と存在の平等に根ざした変革を、教団のみならず現代社会に生み出すことをめざすものでした。			
1	候補者	金子 光洋（かねこ みつひろ）	において、寺院・教会および僧侶の存在意義が今一度問われていると強く認識せざるを得ません。
2	所 属	第 6 組 最賢寺	過去 2 期 8 年にわたり、皆様のご支援のもと、宗議会議員として活動してまいりました。言うまでもなく、南無阿弥陀佛をよりどころとし、親鸞聖人を宗祖とする大谷派宗門は念佛者の誕生を願って存在しています。宗祖御遠忌、慶讃法要が勤まり念佛者は誕生したのでしょうか。皆様はどのようにお感じでしょうか。どのような念佛者の誕生が願われているのか、現場の皆様と対話をし、宗政へ届けるために次の点を重点的に課題としてまいります。
3	所在地	新潟県上越市南本町三丁目 4 番 1 8 号	・差別問題への取り組み
4	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第 2 条第 1 項第 3 号	現在、宗派が重点課題としている是旃陀羅問題をはじめ、男女平等参画やハラスメントに対する取り組み。
5	立候補の趣意		・過疎地寺院の問題への取り組み
経歴			寺院活性化支援事業を通じて、過疎地域の寺院に対する現実的かつ効果的な支援策の継続的検討。
・1975 年生まれ、大谷専修学院本科卒業			・行財政改革について
高田教区震災支援有志会代表、教化特別研修生制度 第 3 期修了			各種プロジェクトや宗務審議会が設置され協議が進んでいます。特に教区・寺院・教会に直接関係する交付金や賦課金制度の模索。
真宗同朋会とは、純粹なる信仰運動である。			以上のことを踏まえ、御本尊を中心とした宗政運営に寄与し、念佛者が誕生する願いを持って立候補することを決意いたしました。
それは従来単に門徒と称していただけのものが、心から親鸞聖人の教えによって信仰にめざめ、代々檀家と言っていただけのものが、全生活をあげて本願念仏の正信に立っていただくための運動である。			
その時寺がほんとうの寺となり、寺の繁盛、一宗の繁盛となる。			
然し単に一寺、一宗の繁栄のためのものでは決してない。それは「人類に捧げる教団」である。世界中の人間の真の幸福を開かんとする運動である。（1962 年『真宗』12 月号）			
60 年以上前に示された言葉が今、私の姿勢を問い続けています。			
近年、頻発する自然災害、人口減少、差別や国際紛争の影響など、一人の人間存在が脅かされ軽んじられる状況が多く存在します。そのような社会環境下			

告 知 事 項

（１）選挙の告示日以後から選挙公報の発行に至るまでの間の告示事項

新潟選管告示第１号
２０２５年８月２２日

新潟選挙区選挙管理会

このたび、宗議会議員選挙条例第４０条第１項により、下記のとおり総選挙を実施するため、同条例第４７条第１項により告示する。

記

- | | | |
|---|-----------|-----------------------|
| １ | 選 挙 の 期 日 | ２０２５年９月１５日 |
| ２ | 立候補の届出期間 | ２０２５年８月２５日から８月２７日まで |
| ３ | 選挙運動の期間 | 立候補届出の日（受理後）から９月１１日まで |
- 以 上

新潟選管告示第２号
２０２５年８月２２日

新潟選挙区選挙管理会

来る９月１５日施行の宗議会議員選挙の選挙係について、下記のとおり選定したので、宗議会議員選挙条例第２９条により告示する。

記

- | | |
|-------|---------|
| 選 挙 係 | 江 口 兼 弥 |
| 同 上 | 土 肥 慶 亮 |
| 同 上 | 片 岡 明日香 |
| 同 上 | 谷 俊 |
| 同 上 | 倉 見 悠 |
| 同 上 | 高 田 直 来 |
| 同 上 | 鷲 尾 祐 恵 |
| 同 上 | 戸 次 輝 |
| 同 上 | 圓 谷 千 生 |
| 同 上 | 小 山 恵 子 |
| 同 上 | 松 村 弘 |
- 以 上

新潟選管告示第６号
２０２５年８月２６日

新潟選挙区選挙管理会

来る９月１５日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第５１条第１項により告示する。

記

- | | | |
|---|--------------|------------------|
| １ | 候補者の氏名 | 田澤 一明 |
| ２ | 所属する寺院・教会の名称 | 第１９組 明誓寺 |
| ３ | 所在地 | 新潟県新潟市南区庄瀬６６０５番地 |
- 以 上

新潟選管告示第７号
２０２５年８月２７日

新潟選挙区選挙管理会

来る９月１５日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第５１条第１項により告示する。

記

- | | | |
|---|--------------|-------------------|
| １ | 候補者の氏名 | 金子 光洋 |
| ２ | 所属する寺院・教会の名称 | 第６組 最賢寺 |
| ３ | 所在地 | 新潟県上越市南本町三丁目４番１８号 |
- 以 上

新潟選管告示第８号
２０２５年８月２８日

新潟選挙区選挙管理会

来る９月１５日施行の宗議会議員選挙は、宗議会議員選挙条例第６９条第１項により投票を行わないこととなったので、同条第２項により告示する。

以 上

新潟選管告示第３号
２０２５年８月２５日

新潟選挙区選挙管理会

来る９月１５日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第５１条第１項により告示する。

記

- | | | |
|---|--------------|-----------------|
| １ | 候補者の氏名 | 廣川 和宏 |
| ２ | 所属する寺院・教会の名称 | 第１８組 高念寺 |
| ３ | 所在地 | 新潟県新潟市南区吉江６１７番地 |
- 以 上

新潟選管告示第４号
２０２５年８月２５日

新潟選挙区選挙管理会

来る９月１５日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第５１条第１項により告示する。

記

- | | | |
|---|--------------|-----------------|
| １ | 候補者の氏名 | 井上 博 |
| ２ | 所属する寺院・教会の名称 | 高田１１組 福楽寺 |
| ３ | 所在地 | 新潟県上越市牧区岩神５４７番地 |
- 以 上

新潟選管告示第５号
２０２５年８月２５日

新潟選挙区選挙管理会

来る９月１５日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第５１条第１項により告示する。

記

- | | | |
|---|--------------|------------------|
| １ | 候補者の氏名 | 渡邊 学 |
| ２ | 所属する寺院・教会の名称 | 第２３組 明正寺 |
| ３ | 所在地 | 新潟県新潟市北区葛塚３２１１番地 |
- 以 上

（２）選出すべき議員の定数 ５名

以 上